

# 令和3年2月 愛西市教育委員会 定例会 会議録

開会日時 令和3年2月9日(火) 午前10時30分  
閉会日時 令和3年2月9日(火) 午前11時35分  
場 所 愛西市役所 北館2階 会議室2-1

■ 出席委員

教育長	平尾 理
委員	平野 英治
委員	杉方 南衣
委員	水谷 朋和
委員	大竹 節雄
委員	難波 知里

■ 説明のために出席した職員

教育委員会	教育部長	大鹿 剛史
	学校教育課主幹	稲垣 潤一
	生涯学習課長	伊藤 静
	スポーツ課長	伊藤 義幸
	学校教育課課長補佐	坪井 靖史

■ 傍聴者 2名

1 開会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 議事

- (1) 愛西市教育委員会後援名義使用について
- (2) 学校教育における当面の課題について
- (3) 令和3年度予算について（非公開）
- (4) 就学校の変更申請について（非公開）
- (5) その他

5 閉会

(教育部長)	1. 開会 開会宣言する。
(教育部長)	2. 前回会議録の承認 前回会議録について、事前にお手元にお届けしましたが、お気づきの点やご異議はなく、ご署名をいただきましたので、ご報告いたします。
【教育長】	3. 教育長報告 現在、緊急事態宣言が出ておりますので、学校教育、生涯学習、スポーツ課におきましては、しっかりと対応をして参りたいと思います。 小学校2年生の35人学級について、閣議で決定されました。愛知県にどのような影響があるか、情報が入り次第報告して参ります。 1月19日に、第1回愛西市立小中学校施設老朽化対策検討委員会が開催されました。各学校がどのような形で進めていくのかご提言いただきますのでご承知おきください。
【教育長】	4. 議事 (1) 愛西市教育委員会後援名義使用について を議題とします。 本日は、過去に承認した実績のある事業のみの申請ですが、事務局から何かありますか。
(スポーツ課長)	(資料1-3「第73回中部日本卓球選手権大会愛知県予選会」より説明。)
【教育長】	何か質疑はありますか。
【教育長】	《全委員異議なし》
【教育長】	異議もないようですので、承認します。
【教育長】	その他の事業についてもよろしいですか。
【教育長】	《全委員異議なし》
【教育長】	意義もないようですので、承認します。
【教育長】	次に、(2) 学校教育における当面の課題について を議題とします。事務局より説明をお願いします。
(学校教育課主幹)	資料はございませんが、3点に分けて説明をさせていただきたいと思っております。

	<p>1 点目です。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響と、今後の対応についてお話をさせていただきます。2月1日現在、学校関係者において7名の感染者が出ています。気を緩める事が出来ませんし、学校においてもしっかりと対策を講じてくれたおかげで、今のこの状態があるものだと思っております。今後も予防対策として、健康観察、手洗い、三密を防ぐ等、今まで行ってきた対応をしっかりと講じていきたいと思います。</p> <p>今後の臨時休校措置ですが、校内に感染者が発生しましたら、即、全校休校とは限らないという通知が国から来ております。陽性者を中心に、濃厚接触者が増える傾向にある際は、学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖も視野に入れていきます。</p> <p>学校教育への影響と見直しについてですが、授業の学習形態について今後も工夫を講じていく必要があると思えます。一斉音読、グループ学習、近距離での実験、調理実習では、十分配慮をしていきたいと思えます。</p> <p>学校行事については、儀式的行事である特に入学式、卒業式は来賓の参加を依頼しない形で簡略化していきたいと思っております。子ども達の授業数の確保、先生方の負担も考慮し、来年度だけにとどまらず、それ以降もこういった措置をしていきたいと思っております。</p> <p>健康安全・体育的行事についても、密を防ぐだけでなく、熱中症の対策も十分考え、運動会の開催時期を考慮して参ります。文化的行事についても、特別なことに時間を費やすのではなく、日々の積み重ねが、発表という形で現れるようにしていきたいと思っております。</p> <p>遠足・集団・宿泊的行事については、児童生徒が関心を深めて、意欲を喚起するためにも、校外学習による実体験を重視していきたいと思えます。GIGA スクール構想によって、一人一台端末が入り、ますます ICT化が進んでいきますが、そういった機器を活用しつつも、実社会での本物との出会いや直接体験を計画的に進め、体験を生かして、市の特色ある教育を進めていきたいと考えております。</p>
(委員)	感染者7名と報告がありましたが、児童生徒ですか。
(学校教育課主幹)	児童生徒及び教職員を含めた数です。
(委員)	グループ学習について、今年はどうに行われていましたか。
(学校教育課主幹)	<p>学校の中でとても工夫をしております。</p> <p>例えば、英語の授業では、透明のシートを一人ずつの机に衝立のように</p>

	置いて、発声の練習をする工夫をしておりました。 小さな工夫の積み重ねで感染を防げているのかなと思いますし、学校や子ども達は極めて明るい状況です。
(委員)	歯磨きに関して、現在学校ではどのような状態でしょうか。
(学校教育課主幹)	水道の前に足形のマークが並んでおり、ソーシャルディスタンスで、必ずそこに並びます。蛇口は出しっぱなしで、極力触らないようにしています。
(委員)	マスクの正しい着け方に関して、徹底して指導をしていただいているのでしょうか。
(学校教育課主幹)	マスクの着け方は、保健の先生を中心に徹底していると思います。
(委員)	小中学校の運動会や体育祭では、感染防止で三密を防いだり、夏場は熱中症も考えられるかと思いますが、通常の体育の授業で感染防止はされていますか。
(学校教育課主幹)	取り組む運動の内容にもよりますが、外の活動であっても、整列の形については距離を保つということをしっかり行っていただいています。外でみんなが集まる一斉下校においても、距離をとって一方向だけを向いていくことは心掛けていただいています。
(委員)	授業が少なくなっているということはありませんか。
(学校教育課主幹)	少なくなることはありません。
<b>【教育長】</b>	先ほど事務局よりも説明がありましたが、入学式及び卒業式においては、令和3年度以降も来賓の方へのご案内を差し控えたいと考えております。よろしいでしょうか。  《全委員異議なし》
<b>【教育長】</b>	ありがとうございました。
(学校教育課主幹)	2点目です。教職員の働き方改革について説明をさせていただきます。

	<p>教師の多忙化の現状と致しましては、今年度6月現在、市の調査ではありますが月80時間越えが小学校で15%、中学校が17%となり、まだまだ長時間勤務をしている先生方が見えます。授業の準備だけでなく、特別支援、不登校、生徒指導等で対応に追われております。中には中学校の部活動の指導において、メリットは大会試合での勝利の喜び、敗北感を味わうといった経験の積み重ねであります。逆にデメリットとしては、教師にとって部活動は全員で行うことが半ば義務化状態です。未経験者にとっては、指導が困難である先生も少なくないようです。</p> <p>採用試験の倍率も20年前と比較すると、小学校で約10倍ほど減りました。20年前12.5倍だった倍率が今年では2.7倍、中学校でも17.9倍だった倍率が今年5倍と大きく落ち込んでおります。国の方も動きとして、時間外在校時間においても月45時間、年間360時間と指針を出されました。それを受けて県で条例が制定され、市でも学校管理規則を整理している所です。</p> <p>今後の対策と致しましては、学校行事の精選、限られた時間の中での現職研修においても充実していきたいと思っております。学校訪問においては、午前中での日程の見直しを行いました。また、小学校高学年においては一部教科担任制を導入し、可能なところから導入して参りたいと思っております。GIGA スクール構想については、計画的な研修を行い、働き方についても見直していきたいと思っております。</p> <p>勤務体制の工夫においても各学校でしていただきたいと思っております。ノー残業デーを作る、校務分掌をスリム化する等、4月の繁忙期はとて忙しく先生方も余裕のない時期となりますが、日課を見直していきたいと思っております。</p> <p>部活動の時間についても、縮減の方向で動いております。体力低下防止のために、市のスポーツ協会等にも依頼をしながら、体力低下を食い止めていきたいと思っております。</p>
(委員)	<p>教科担任制について、可能な所から導入されるということですが、可能な所の意味というのは、可能な教科という意味合いなのか、可能な教職員数ということで学校の規模に関わってくる事なのか、それとも人材的な事に関わってくる事なのか、可能と言われる要素はどのようなことですか。</p>
(学校教育課主幹)	<p>教務主任、校務主任の先生、又、学年内の先生でそれぞれ専門の教科をお持ちですので、お互いカバー出来るところから可能な範囲でと思っております。</p>

	<p>まずは、今ある人材の中で、授業の組み立て方の工夫といった所のやりくりから始めていきたいと思っております。</p>
(委員)	<p>初任者の先生とベテランの先生で働き方は違ってくるところがあり、やるべきことはその先生なりにあるはずなので、教科担任制でそういった時間を作って頂ければという期待もあります。教科の強みのある先生が実技を子ども達の前で見せてくれるということは、子ども達にとっては大きなことであると思っております。</p>
(委員)	<p>来年度の学校行事計画に向けて愛西市の特色ある教育ということで、本物との出会いを大切にす、実体験を重視する等、行事の見直しについて各学校で検討されるかと思いますが、市として各学校に伝えていることはありますか。</p>
(学校教育課主幹)	<p>現時点では、各学校が主体となって行事の計画等をしている部分が多いです。今後、市として何を重視していくのか方向性を示していくことになるかと思えます。</p>
(委員)	<p>先生方の部活動指導についてですが、今後の方針として小学校ではスポーツ関係の方に来ていただくと良いなと思えますが、中学校となると専門的な知識が必要であると思えます。そのような専門的な方を特別に雇うことは考えておりますか。</p>
(学校教育課主幹)	<p>現時点では、専門的な方に来ていただくための予算取りはしていません。</p>
(委員)	<p>働き方改革として、在校時間に制限がかけられたことに関しての対応・対策ですが、表に出てきているのは、学校行事の見直しや部活動について直接関わる子どもや地域の面だけですが、職員室での校務分掌・報告・連絡においての見直しは考えられているのでしょうか。</p>
(学校教育課主幹)	<p>事務的な部分では、校務支援システムを使った事務処理や通知表の作成、また保健の先生に対して専用のソフトを導入し、なるべくコンピュータで処理をしていけるようにしております。</p> <p>また、電話の時間を留守番設定に切り替えさせていただいております。</p>
(学校教育課主幹)	<p>3点目です。いじめ・不登校対策について説明をさせていただきます。</p> <p>ひきこもりとなっている原因ですが、学校生活に起因している部分が</p>

	<p>きいのではないかと思います。今後の対策と致しましては、児童生徒自身に自治能力を高め、自らの問題として解決していこうとする気持ちを育てていきたいと思います。また虐待や、発達障害などについても早急に発見していきます。そのためには、教育委員会だけでなく子育て支援課などの関係機関との情報交換を密にして小1プロブレム、特別支援教育にも対応していきたいと思います。主に中学校で不登校となっている生徒が適応指導教室すまいるにお世話になっております。適応指導教室すまいるは、学校だけの機関ではなく、愛西市としての大事な機関として広く相談業務にも力を入れていきたいと思います。不登校児童生徒についても ICT 機器を活用して学力の維持、友達との交流についても工夫をしていきたいと思います。学校においても、適応指導教室すまいるとの連携をし、保護者との教育相談も充実していきたいと思います。関係部局との横断的連携を進めて、情報共有化を図りたいと思います。</p>
【教育長】	何か質疑はありますか。
【教育長】	<p>《全委員質疑なし》</p>
【教育長】	ご承知おきください。
(学校教育課課長補佐)	(「第1回愛西市立小中学校施設老朽化対策検討委員会」より説明。)
【教育長】	何か質疑はありますか。
【教育長】	《全委員質疑なし》
【教育長】	こちらにおいても、ご承知おきください。
【教育長】	次に、(3) 令和3年度予算について(非公開) を議題とします。こちらにつきましても、非公開となります。
	(傍聴者2名、退室)
【教育長】	次に、(4) 就学校の変更申請について(非公開) を議題とします。こちらにつきましても、個人情報のため非公開となります。
	(傍聴者2名、入室)
【教育長】	次に、(5) その他について を議題とします。事務局より何かありますか。
	《事務局及び全委員質疑等なし》

<p>【教育長】 (教育部長)</p>	<p>他に議題もないようですので、以上で議事を終わりたいと思います。 次回定例教育委員会は、3月1日(月)になりますのでよろしくお願い します。</p> <p>5. 閉会 閉会宣言をする。</p>
-------------------------	--